

平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年4月30日

上場会社名 株式会社 グローバルダイニング

上場取引所 東

コード番号 7625 URL <http://global-dining.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 耕造

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者兼経営管理本部長 (氏名) 添田 裕一郎

TEL 03-5469-3223

四半期報告書提出予定日 平成22年5月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	3,388	△6.7	△124	—	△120	—	△80	—
21年12月期第1四半期	3,629	—	△35	—	115	—	110	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	△8.05	—
21年12月期第1四半期	12.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	9,771	5,141	52.2	508.23
21年12月期	10,192	5,201	50.7	514.89

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 5,105百万円 21年12月期 5,171百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	0.00	0.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,007	△5.7	102	△12.7	79	△67.7	25	△82.3	2.49
通期	14,176	△6.1	195	81.6	151	△22.3	51	—	5.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第1四半期 10,052,600株 21年12月期 10,052,600株

② 期末自己株式数 22年12月期第1四半期 7,855株 21年12月期 7,855株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第1四半期 10,044,745株 21年12月期第1四半期 8,574,376株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部で景気の悪化に底打ちの兆しが見られるものの、厳しい雇用情勢・所得環境が続いていることから、個人消費は低迷基調のまま推移いたしました。

外食業界におきましても、消費者の節約志向が顕著となり、依然として厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、厳しい経営環境下においても持続的な収益成長を可能とする事業基盤の確立を目指し、当社グループの成長を支える優秀な人材の登用と育成、競争力のある商品作り、費用の適正化に重点を置き、既存店の業績向上に取り組んでまいりましたが、国内既存店における来客数の減少と客単価の低下や、海外子会社の業績不振により、当第1四半期連結会計期間における売上高は、33億88百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると「ラ・ボエム」は10億1百万円（同8.8%減）、「ゼスト」は3億33百万円（同5.5%減）、「モンスーンカフェ」は7億62百万円（同7.8%減）、「権八」は6億84百万円（同2.4%減）、「ディナーレストラン」は2億12百万円（同3.7%減）、「フードコロシウム」は2億4百万円（同14.5%減）、「その他」は1億89百万円（同0.7%減）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比10.3%の減収となりました。

利益につきましては、営業損失1億24百万円（前年同期は営業損失35百万円）、経常損失は1億20百万円（前年同期は経常利益1億15百万円）、四半期純損失は80百万円（前年同期は四半期純利益1億10百万円）となりました。

なお、前年同期比につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4億21百万円減少し、97億71百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して3億21百万円減少し、12億38百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が2億72百万円、売掛金が60百万円、原材料及び貯蔵品が35百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して99百万円減少し、85億32百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物が67百万円、工具、器具及び備品が18百万円それぞれ減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して73百万円減少し、30億23百万円となりました。主な変動要因は、短期借入金が1億64百万円増加した一方で、未払費用1億5百万円、1年内返済予定の長期借入金50百万円、未払法人税等60百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して2億86百万円減少し、16億6百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が2億86百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、51億41百万円となりました。主な変動要因は、為替換算調整勘定が13百万円増加した一方で、四半期純損失80百万円を計上したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2億22百万円減少し、3億69百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失1億11百万円、減価償却費1億41百万円、売上債権の減少60百万円、たな卸資産の減少36百万円、法人税等の納付54百万円などにより、営業活動の結果支出した資金は97百万円（前年同期は93百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出21百万円、定期預金への預入による支出10百万円、定期預金の払い戻しによる収入60百万円などにより、投資活動の結果得られた資金は48百万円（前年同期は1億61百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金1億64百万円の増加、長期借入金3億36百万円の返済を実施したことなどにより、財務活動の結果支出した資金は1億74百万円（前年同期は2億60百万円の収入）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の連結業績予想につきましては、概ね想定した範囲内の実績で推移いたしましたので、前回発表時（平成22年2月15日）の予想から変更はありません。

なおこの予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

①固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	369,772	642,432
受取手形及び売掛金	361,966	422,456
原材料及び貯蔵品	194,650	230,499
前払費用	156,077	145,068
繰延税金資産	80,465	37,087
その他	75,422	82,097
流動資産合計	1,238,355	1,559,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,018,367	10,963,356
減価償却累計額	△6,212,485	△6,100,313
減損損失累計額	△1,675,269	△1,665,406
建物及び構築物 (純額)	3,130,611	3,197,636
車両運搬具	10,343	10,271
減価償却累計額	△10,169	△10,085
車両運搬具 (純額)	173	185
工具、器具及び備品	2,083,582	2,072,648
減価償却累計額	△1,684,637	△1,655,949
減損損失累計額	△93,609	△92,970
工具、器具及び備品 (純額)	305,336	323,729
土地	2,980,409	2,969,618
リース資産	25,528	25,528
減価償却累計額	△3,161	△1,885
リース資産 (純額)	22,366	23,643
建設仮勘定	7,728	735
有形固定資産合計	6,446,626	6,515,548
無形固定資産		
ソフトウェア	57,472	62,971
電話加入権	10,575	10,575
その他	500	521
無形固定資産合計	68,548	74,067
投資その他の資産		
投資有価証券	9,417	8,687
長期前払費用	40,293	37,749
繰延税金資産	244,921	253,257
差入保証金	1,723,155	1,743,505
投資その他の資産合計	2,017,788	2,043,199
固定資産合計	8,532,964	8,632,816
資産合計	9,771,319	10,192,458

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,058	591,419
短期借入金	676,000	512,000
1年内返済予定の長期借入金	970,876	1,021,384
リース債務	5,361	5,361
未払金	121,434	162,994
未払費用	520,661	625,845
未払法人税等	13,559	73,989
未払消費税等	71,710	65,410
その他	96,792	38,930
流動負債合計	3,023,455	3,097,336
固定負債		
長期借入金	1,539,556	1,825,898
リース債務	18,570	19,911
退職給付引当金	29,695	29,349
店舗閉鎖損失引当金	18,500	18,000
固定負債合計	1,606,322	1,893,158
負債合計	4,629,778	4,990,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,118	1,472,118
資本剰余金	2,127,118	2,127,118
利益剰余金	1,844,839	1,925,666
自己株式	△9,692	△9,692
株主資本合計	5,434,383	5,515,210
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,378	2,945
為替換算調整勘定	△332,755	△346,239
評価・換算差額等合計	△329,376	△343,293
新株予約権	36,534	30,047
純資産合計	5,141,541	5,201,963
負債純資産合計	9,771,319	10,192,458

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	3,629,908	3,388,360
売上原価	3,329,211	3,220,613
売上総利益	300,697	167,746
販売費及び一般管理費	336,593	291,748
営業損失(△)	△35,896	△124,001
営業外収益		
受取利息	122	42
為替差益	168,243	6,668
その他	5,408	10,203
営業外収益合計	173,774	16,914
営業外費用		
支払利息	14,032	12,981
株式交付費	2,702	—
その他	5,860	45
営業外費用合計	22,595	13,027
経常利益又は経常損失(△)	115,282	△120,115
特別利益		
訴訟和解金	33,398	—
受取保険金	—	9,000
特別利益合計	33,398	9,000
特別損失		
固定資産除却損	19,387	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	25,000	—
特別損失合計	44,387	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	104,293	△111,115
法人税、住民税及び事業税	637	5,049
法人税等調整額	△7,192	△35,338
法人税等合計	△6,555	△30,288
四半期純利益又は四半期純損失(△)	110,848	△80,826

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	104,293	△111,115
減価償却費	143,126	141,313
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,533	346
受取利息及び受取配当金	△122	△42
支払利息	14,032	12,981
為替差損益(△は益)	△168,243	△6,668
株式交付費	2,702	—
固定資産除却損	19,387	39
売上債権の増減額(△は増加)	79,778	60,610
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,858	36,069
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,777	△44,679
その他	△168,457	△117,246
小計	42,113	△28,390
利息及び配当金の受取額	122	42
利息の支払額	△16,247	△14,703
法人税等の支払額	△119,555	△54,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,567	△97,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△187,431	△21,941
定期預金の預入による支出	△180,047	△10,000
定期預金の払戻による収入	210,004	60,007
差入保証金の差入による支出	△3,142	—
差入保証金の回収による収入	572	20,560
その他	△1,443	△210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,487	48,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	164,000
長期借入金の返済による支出	△351,112	△336,849
リース債務の返済による支出	—	△1,340
株式の発行による収入	497,301	—
自己株式の取得による支出	△25	—
配当金の支払額	△35,591	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	260,572	△174,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,433	267
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,951	△222,651
現金及び現金同等物の期首残高	519,905	592,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	526,856	369,772

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

事業の種類別セグメント情報は、すべての事業がレストラン経営を主とする飲食事業であるため記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

事業の種類別セグメント情報は、すべての事業がレストラン経営を主とする飲食事業であるため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。